

# ガラスにまつわるエッセイ

妖精の森ガラス美術館 三浦 和

現在開催中の松藤さんの展覧会では、2階の展示作品とは別に松藤さんが制作した販売用の作品も1階ショップで展示しています。その販売作品の中にもウランガラスを使ったものがあるのですが、これはガラス美術館のウランガラスではなく、海外産のウランガラスを松藤さんが自ら取り寄せて制作した作品です。海外産のものはガラス美術館のウランガラスと比べると少し黄色が濃い感じですが、これはガラス原料に添加しているウランの含有率が違うため、色が濃いほど含有率が高いということになります。美術館のウランガラスは重量割合で0.1%（ガラス1Kgあたり1g弱）なのに対し、海外産のウランガラスは1%弱といった割合が多く、松藤さんが使っている海外ウランガラスも1%程度ではないかと思われます。（含有率1%でも放射線による人体への影響はありません。）

ところがウランが多く含まれていればより強く発光する、というわけでもなく、紫外線を当てたときの光り方はどちらもさほど変わりません。

ウラン含有率に関するウランガラスの少し専門的なお話でした。



左が松藤さん、右がガラス美術館制作のウランガラスのリンゴ。どちらも可愛い作品です。

お問い合わせ先 妖精の森ガラス美術館 電話(0868)44-7888

## 中山間地域等直接支払制度の実施状況

中山間地域等直接支払制度とは、中山間地域等の農業生産条件が不利な地域における農地の耕作放棄の防止など、将来に向けて農業生産活動を継続する前向きな取組みを行うことを目的とし、5年以上耕作を続けることを約束した耕作者の方々の同意による集落協定を町と結ぶことにより交付金が交付される制度です。

当制度の方針に基づき、令和元年度の実施状況を公表します。

項目	内容
集落協定の概要	対象となる農地は、鏡野町の中山間地域等直接支払基本方針に基づき、農振農用地区域内の一団の急傾斜農地（傾斜率1/20m以上の田）及び緩傾斜農地（傾斜率1/100m以上1/20m未満の田）。 将来に向けた集落マスタープランを作成し、適切な農用地管理及び関連する水路、農道等の適正管理を実施する。基本的に助成金の2分の1以上は、面積に応じた個人配分として使用する。
実施地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>*鏡野地域(24集落協定/協定面積145.2ha/交付額29,393,905円)</li> <li>*奥津地域(34集落協定/協定面積226.8ha/交付額33,729,013円)</li> <li>*上齋原地域(18集落協定/協定面積 93.6ha/交付額11,879,449円)</li> <li>*富地域(29集落協定/協定面積107.1ha/交付額13,381,639円)</li> </ul>

お問い合わせ先 鏡野町産業観光課 担当:村上 電話(0868)54-2987